

ドッジボール大会報告

1・2年金メダル 3・4年銅メダル 5・6年銅メダル

3月26日(火)第16回学童保育ドッジボール大会で、ささのはクラブの1・2年は金メダル、3・4年は銅メダル、5・6年は銅メダルでした。今年度は3段階のチーム制になって2年目、また新たに「スキップ鷺沼」が参加して1・2年と3・4年チームが7チームになり大幅に試合数が増えたので、引き分けありの1試合2セットマッチ、勝ち点制になりました。積み重ねとチームワークが生きるドッジボール、学童毎に毎年学年構成は違い、自分たちの条件の中で、男女共にみんなで強くなろうと練習してきた結果としてのドッジボール大会です。年度末の1年間の集大成としての取り組みとして、自主学童としてずっと取り組んできた大会です。「引き分け有りってことは1セットずつ大事にやれば実力差があっても、負けないうてことだよ。」がむしやらに練習していた低学年、色々な気持ちの揺れに翻弄されて、とっても強いのにどこまでチームワークが保てるか心配だった高学年。でも大会では違った緊張感が見えて、一生懸命さそのものの顔でした。ささのはは、1・2年チーム以外はほぼフル出場。勝っても負けても、手に汗握る試合で、それぞれのチームの中心の2・4・6年生達は、必死に力を振り絞って大活躍、1・3・5年生も自分たちの役割を自覚して、チームワークの中でそれぞれの役割を果たしていました。



1・2年チームは、久しぶりの優勝!! 1年生でも自分で逃げて、当たって外野に出たらパスが届くように頑張れと鍛えてこられた女子とオレだつてと2年に負けない意気込みで積極的にボールをとったり投げたりできるようになった男子達です。さらに2年女子は、春から「女子だけドッジ」で3年以上の女子に鍛えられてきた人たち、男子は3・4年や5・6年のチームと対戦しながら鍛えられてきた人たち。みんなどんどん力をつけびっくりするような活躍をしました。

指導員は結果表を見に行く暇もなかったけど、5勝1引き分けで勝ち点16。試合が終わるたびに「ねえ、もう10点になったよ、後2回勝てば優勝だよ」など報告に来てくれて本当でした! 3・4年チームは、やっと中心になって活躍できると意欲を燃やした4年生、去年準優勝の中心になった3年生がお互いの力を認め合いながら練習し、高学年ルールになり、当てたら生き返れるので当てられる力をつけるように頑張ってきました。5・6年チームといっしょに練習をして、力を見せつけられることもありながら、1・2年を引っ張って練習をしてきました。2勝2敗2引き分けの、同率2チームの3位は、少人数の総力戦としては立派です。5・6年チームは6年生2人、5・6年で10人のメンバーが全員揃う日はなかなかない中で練習して来ました。大柄な6年の多い、花の台・オカリナチームに必死な思いで対戦したと思います。お互いに色々な声を掛け合いながら、男女でチームワークを持てた結果として、他には全勝で来たオカリナチームに1セット勝てたことは、誇っていい大きな勲章のように思えます。1勝1敗1引き分けでした。

早く試合が終わった5・6年コートで、花の台のOBが仕切って審判もしてくれて、全5・6年チームと各OBチームですごい迫力の親善試合ができたことがとても楽しかったようです。



ドッジボール大会を経験すると、来年に向けての方向が少し見えてくるようなことも達です。身近な目標があって毎日いっしょに頑張れるっていいなと思います。また1年間かけて地道にチームワーク作りをしたいです。おめでとう!!! たくさんの方の応援ありがとうございました。ささのはでのにぎやかな打ち上げはとっても盛り上がりました。